

ダイジェスト 一般質問 Digest

6月定例会では18名の議員が登壇しました。震災がれきの受け入れ、通学路の安全対策、乳幼児医療費の現物給付など質問内容は多岐にわたりました。

※今回の議会報「一般質問ダイジェスト」では、皆様のご意見やご要望を踏まえ、議員名を記載しました。



防犯・防災

市内を走る活断層と液状化に認識を新たに

三浦 正司 議員

Q 長崎県地域防災計画見直し検討委員会の知事に対する答申によれば大村市内を走る大村・諫早北西付近断層帯の明確な位置を一本の線として現わされ、この断層帯を含む県内5本の活断層による液状化の危険度と、その対策の基本指針的なものが明らかにされた。真摯にこれらを受け、活断層液状化の認識を深め対策に万全を図られよ。

A 県の計画は、6月4日に開催された県防災会議において、3月6日の県知事に対する見直し検討委員会からの提言を反映させた修正案が承認され、今後、県下の市や町に修正について提示される予定になっている。市の基本的な考え方は、提示された県の計画にのっとり市の地域防災計画を修正すべきところは修正し対応する。

自転車の「安心安全条例」の制定を急げ

山北 正久 議員

Q 全国で自転車事故が年毎に増加しており、2010年度は約10万6千件であり過去最高であった。本市の自転車事故件数は県内自治体でワースト・ワンであり、その対策は急務である。自転車の利用者が交通マナーを向上させ、事故防止のため安全運転に努めることを目的とする「自転車安全安心条例」を早急に制定するべきだ。

A 自転車の「安心安全条例」の制定については、関係機関、それから団体とも協議を行いながら、平成24年度中に検討を進めて平成25年度の条例化を目指したいと考えている。



生活・環境

東大村の産業廃棄物最終処分場について

廣瀬 政和 議員

Q 今回、長崎県の行政代執行により施設の改善を進めることになったが、汚染水発生の原因となる雨水や上流からの流れ込み、地下水による浸透水防止、異

臭発生の原因となる硫化水素ガスの発生防止対策、また、不法に埋められた産廃の処理はどうするのか。今後、新たに施設設置の申請が出された場合の大村市の対応は。

A 浸透水対策は、遮水壁の設置、排水路の設置、水平ボーリング及び揚水井戸からの保有水の処分、天端の成形変更及び排水路整備により、浸透水を溜りに流し吸上処分する。硫化水素は、ガス抜き管から放出排除する。行政代執行後の基本的な施設の管理は、今後とも、監視を継続する県と連携を図り周辺環境の保全に取り組む。



福祉・医療・保健

孤独死防止対策について

村上 信行 議員

Q 最近では孤独死が多発しており、対策を急ぐ必要がある。個人情報保護法により、住所等を開示できないとされてきたが、身体、生命や財産を保護する時は法の規制対象外とされる。住所、氏名の情報を民生委員に開示すべきである。